

核医学診療科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 感染症に対する ^{18}F -FDG PET/CT 検査による感染源同定の有用性の検討

[研究機関] 北海道大学病院核医学診療科

[研究責任者] 玉木 長良（核医学診療科・教授）

[研究の目的]

感染症の原因検索を行う上で、 ^{18}F -FDG PET/CT 検査は有用であることが知られています。しかし、現在その評価方法や有用な撮影方法は、十分に明らかではありません。今回の調査では、現在まで行った ^{18}F -FDG PET/CT の過去の情報を見直し、感染症の原因を同定するための優れた方法を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

①何らかの病原体による感染症の疑われる患者さんで、平成 20 年 12 月 1 日から平成 25 年 7 月 15 日までの間に当院で感染症の評価目的に ^{18}F -FDG PET/CT の検査を受けた方。

②感染症合併を疑わない患者さんで、平成 20 年 12 月 1 日から平成 25 年 7 月 15 日までの間に当院で悪性腫瘍疑いの検査のために ^{18}F -FDG PET/CT の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、使用薬剤、検査前後の体温、血液検査の結果、細菌培養検査の結果、画像生理検査結果（ ^{18}F -FDG PET/CT、CT(施行している場合)）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院核医学診療科

担当医師 真鍋 治

電話 011-706-5152

FAX 011-706-7155